

施策番号	1802		
施策名	子どもたちに「生きる力」を育む教育の推進		
概要	子どもたちの自尊感情や規範意識を高め、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を育み、子どもたちが社会で自立して生き、豊かな人生を送ることができるよう、あらゆる教育活動を通して取り組む。		
担当局・部室	教育委員会・指導部	共管局・部室	
上位政策	18 学校教育		
施策に関係する 主な分野別計画等			

施策の評価

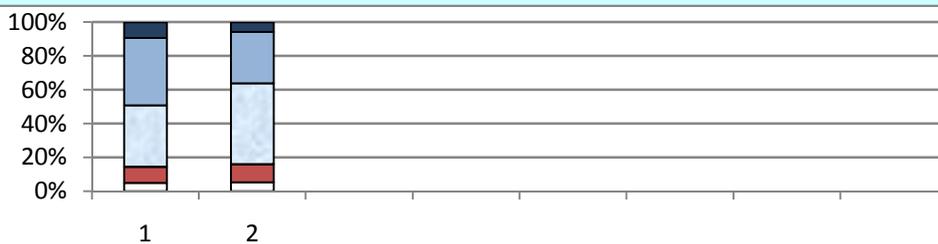
1 客観指標評価

指標名	年度	年度	23年度評価						
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標のウェイト	
1 学力向上を支える京都市学習支援プログラムに対する児童生徒のアンケート評価値(%)	-	-	-	-	-	-	-	-	
2 非行防止教室の実施率(%)	-	-	9.1	38.7	40.0	96.8%	b	1.00	
3 新体力テストの結果(項目数)	-	-	28	24	31	77.4%	b	1.00	
4 通級による専門的な指導を受けているLD等の発達障害のある児童生徒数(人)	-	-	209	333	330	100.9%	a	1.00	
5 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
6 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
客観指標総合評価							a		

2 市民生活実感評価

*この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問	23年度回答						有効回答者数	評価
	そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない			
1 子どもたちが参加できる、さまざまな学びやスポーツ、体験活動の機会がある。	49 9.4%	208 39.8%	190 36.3%	50 9.6%	26 5.0%	523	b	
2 京都ならではの伝統文化や環境の教育が、社会を担える人材の育成に役立っている。	28 5.7%	148 30.4%	233 47.8%	52 10.7%	26 5.3%			487
3 -							-	
4 -							-	
5 -							-	
市民生活実感調査総合評価							b	



- そう思う
- どちらかと言うとそう思う
- どちらとも言えない
- どちらかと言うとそう思わない
- そう思わない

3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

A	施策の目的が十分に達成されている						
	重み付け	<input checked="" type="checkbox"/> 客観指標	a	<input type="checkbox"/> 市民の実感	b		
(重み付けの理由) 本施策の対象が京都市立学校に在籍する幼児・児童・生徒に限定されており、多くの市民にはその効果が実感されにくいものであるため、客観指標を重視する。						年度	-
(原因分析) ・子どものニーズにあった教育を行うため、LD等の発達障害のある児童生徒が通級による専門的な指導を受けることのできるよう取組を充実させるとともに、子どもたちに規範意識を育むため、非行防止教室に積極的に取り組んだことから、客観指標がa評価となった。						年度	-

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		23年度事務事業評価結果 における目標達成度評価	担当局
		22年度 決算額	23年度 予算額		
1	私立幼稚園保護者助成	1,314,162	1,288,728	良い	教育委員会
2	小・中学生就学援助費	1,461,915	1,430,645	かなり良い	教育委員会
3	国際理解教育・英語教育の推進	201,492	206,681	かなり良い	教育委員会
4	体験活動及び文化活動の推進	28,719	29,252	かなり良い	教育委員会
5	特色ある高校づくり推進事業	139,102	138,553	かなり良い	教育委員会
6	学力向上対策	703,446	677,647	かなり良い	教育委員会
7	安全教育の推進	43,382	33,158	良い	教育委員会
8	体力向上推進	47,431	47,481	かなり良い	教育委員会
9	中学・高校競技力向上	61,096	61,711	かなり良い	教育委員会
10	学校給食の充実	3,338,368	3,322,546	かなり良い	教育委員会
11	健康増進・健全育成の推進	550,093	556,391	かなり良い	教育委員会
12	総合育成支援教育の充実(総合支援学校・育成学級の運営等)	500,819	506,839	かなり良い	教育委員会
13	スクールカウンセラー等の配置	184,698	183,206	かなり良い	教育委員会
14	不登校対策	22,445	23,425	かなり良い	教育委員会
15	京都市青少年科学センター	399,655	433,633	良い	教育委員会
16	京都市野外教育センター奥志摩みさきの家	74,353	62,652	かなり良い	教育委員会
17	京都市教育相談総合センター(こども相談センターバトナ)	133,144	107,936	良い	教育委員会
18	京都市野外活動施設花背山の家	271,401	284,493	良い	教育委員会
19	京都まなびの街生き方探究館	172,558	169,953	かなり良い	教育委員会
20					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

・京都市学習支援プログラムを活用することで、児童・生徒一人一人の学習状況や課題を把握し、小中学校で連携を図りながら確かな学力の向上を目指していく。

・「京都市子どもの規範意識を育むプロジェクトチーム」において具体的取組を検討・立案し、子どもの「規範意識」を育むための取組を強化していく。

・非行防止教室の実施校拡大に向け、京都府警察本部との連携をより一層、強化するとともに、各校に対して積極的な実施を呼び掛け、子どもの規範意識を育むための取組を推進する。

・今後、「ことばときこえの教室」の併用化等によるLD等通級指導教室の設置拡大等により、通級による専門的な指導を受けることのできる児童生徒数を増加させる。

・子どもたちの体力が長期的に低下しているとともに、運動する子としない子の体力差がうまれている。このような課題を克服するため、運動部活動等をはじめとする学校での体育的な活動の充実に取り組み、子どもたちの体力向上を図る。

施策名	1802	子どもたちに「生きる力」を育む教育の推進
-----	------	----------------------

指標名	学力向上を支える京都市学習支援プログラムに対する児童生徒のアンケート評価値 (%)
-----	---

担当課	学校指導課	連絡先	222-3801
-----	-------	-----	----------

1 指標の説明

京都市学習支援プログラム（小学校：ジョイントプログラム，中学校：学習確認プログラム）の内容について児童生徒を対象に行うアンケート調査の評価値

2 指標の意味

生きる力の一つである確かな学力を育む教育の推進状況を示す指標

3 算出方法・出典等

算出方法：京都市学習支援プログラムについての児童生徒に対するアンケート
出典：事業担当課調べ

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	21年度	22年度		数値	根拠	達成度
数値	-	-		-	全ての児童生徒がアンケートで概ね満足であると評価する内容を旨とする。	-

	全国順位	中長期目標			
		数値	目標年次	達成度	根拠
数値					

備考	23年度から新たに実施する取組であるため、評価は次年度から行う。
----	----------------------------------

5 評価基準

最新数値の目標値に対する達成度が
a：80%以上
b：60%以上～80%未満
c：40%以上～60%未満
d：20%以上～40%未満
e：20%未満

6 基準説明

目標はあくまで全ての児童生徒が満足と感じること（100%）であるが、80%を達成すれば概ね達成したと評価することができることを考えたため、80%以上をa、以下20%刻みで基準を設定した。

7 評価結果

		23
-	-	-

指標名	非行防止教室の実施率 (%)
-----	----------------

担当課	生徒指導課	連絡先	213-5622
-----	-------	-----	----------

1 指標の説明

各年度に非行防止教室を実施した学校の全市立小・中・高等学校に占める割合

2 指標の意味

生きる力の一つである規範意識を育む教育の推進状況を示す指標

3 算出方法・出典等

算出方法：「非行防止教室実施校数」÷「京都市立小・中・高等学校数（休校除く）」
出典：事業担当課調べ

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	21年度	22年度		数値	根拠	達成度
数値	9.1	38.7	29.6ポイント増	40.0	平成32年度までに全市立小・中・高等学校で実施するために、当該年度に達成すべき割合	96.8%

	全国順位	中長期目標			
		数値	目標年次	達成度	根拠
数値		100%	32年度		全市立小・中・高等学校での実施

備考	
----	--

5 評価基準

単年度目標に対する達成度が
a：100%
b：90%以上100%未満
c：80%以上90%未満
d：70%以上80%未満
e：70%未満

6 基準説明

100%をa、以下10%刻みで基準を設定した。

7 評価結果

		23
-	-	b

施策名	1802	子どもたちに「生きる力」を育む教育の推進
-----	------	----------------------

指標名	新体力テストの結果（項目数）
-----	----------------

担当課	体育健康教育室	連絡先	708-5322
-----	---------	-----	----------

1 指標の説明

毎年本市において小学2年生・5年生及び中学2年生に対して実施する体力・運動能力調査の結果が過去10年間の平均値を上回る項目数

2 指標の意味

生きる力の一つである健やかな体を育む教育の推進状況を示す指標

3 算出方法・出典等

出典：京都市立学校児童・生徒 新体力テスト結果報告書

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	21年度	22年度		数値	根拠	達成度
数値	28	24	4項目減	31	48項目の7割の項目数	77.4%

	全国順位	中長期目標		
		数値	目標年次	達成度
数値				

備考	小2, 小5, 中2の男女, 体力調査8項目 3学年×2(性別)×8項目=48項目
----	--

5 評価基準

48項目中、過去10年間の平均値と比べ、向上した項目数が

- a: 31～48項目
- b: 21～30項目
- c: 11～20項目
- d: 1～10項目
- e: 0項目

6 基準説明

過去10年間の平均値と最新数値を比べ、
①体力・能力数値に際限があること
②テストを受ける対象・人数が毎年変わることの理由により、全体の項目数の約7割以上の項目数を上回ればa, 1項目も上回らなかった場合をeとし、その間のb c dを10項目ずつで按分した。

7 評価結果

		23
-	-	b

指標名	通級による専門的な指導を受けているLD等の発達障害のある児童生徒数（人）
-----	--------------------------------------

担当課	総合育成支援課	連絡先	352-2285
-----	---------	-----	----------

1 指標の説明

「ことばときこえの教室」の併用化等によるLD等通級指導教室の設置拡大や、LD等非常勤講師の活用などの取組により、通級による専門的な指導を受けることのできるLD等の発達障害のある児童生徒数
※LD等の発達障害…学習障害、注意欠陥多動性障害、高機能自閉症（アスペルガー症候群含む）を指す。

2 指標の意味

発達障害のある児童生徒に生きる力を育む教育の推進状況を示す指標

3 算出方法・出典等

出典：事業担当課調べ

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	21年度	22年度		数値	根拠	達成度
数値	209	333	124人増	330	平成32年度の目標値達成のため、当該年度に達成すべき数値	100.9%

	全国順位	中長期目標		
		数値	目標年次	達成度
数値		500	32年度	

備考	22年度設置校数及び指導人数から、ことばときこえの教室の併用化、LD等非常勤講師の活用及び国からの教員定数加配等の予定を勘案して算出
----	--

5 評価基準

目標値に対する達成度が

- a: 70%以上
- b: 50%以上～70%未満
- c: 30%以上～50%未満
- d: 10%以上～30%未満
- e: 10%未満

6 基準説明

国からの通級指導に対する教員定数加配に大きく左右されるため、70%以上でa, 以下20%刻みで設定。

7 評価結果

		23
-	-	a